

# 長万部温泉・大成館の「7月の普賢象」の育樹

## 1 始まりは2021年（令和3年）

長万部温泉は、長万部町市街地の中央に位置し、JR函館本線の線路の北側にあります。1955年（昭和30年）に天然ガスの試掘中に温泉が湧出したことに始まる「高張性弱アルカリ高温泉」の温泉です。

2021年（令和3年）5月21日、当社樹木医の木戸口和裕は、宿泊した長万部温泉の「温泉旅館大成館」（営業主 高井優一氏）の庭にある1本の桜「普賢象」が気に入り、この桜の美観上から枯損枝除去を行いました。

なお、この庭の一部で野菜づくりが行われているため、この桜の施肥は十分であると思われました。

「普賢象」は室町時代からあるとも言われているオオシマザクラ系の八重桜の名品です。大成館の普賢象は、樹高5m程度で、横枝が発達し、花色は最初、薄紅色でやがて白色に変化していく桜で、非常に上品な風情のある桜となっています。

同年7月1日に大成館を再訪すると、「普賢象」の花がざっと30輪程度まばらに咲いているのには、本当に驚きました。7月に入っても、1輪、2輪の「遅咲き」であればともかく、30輪も花が咲いているのは、明らかに「本咲き」です。これまで「7月の普賢象」に出会ったことはありませんでした。

長万部温泉からの排熱もあるはずで、割に暖かい環境にいるはずなのになぜ、などと考え、はじめは長万部温泉と「7月の普賢象」は、極めて奇妙な取り合わせのようにも思えました。

まだ、数日、咲いているはずだと思い、高井氏に花期の最後に日の確認をお願いしました。高井氏によると、2021年は、5月15日頃から7月11日まで咲いていた、とのことでした。

## 2 そして2022年（令和4年）

2022年（令和4年）7月6日、「7月の普賢象」の根の区域に、土壌改良として、穴あけ器によりエアレーションし、フルボ酸の植物活性剤「フジミン Forest」の散布を行いました。この時は、ざっと50輪程度咲いており、「7月の普賢象」は、昨年だけの現象ではないことを確認しました。



大成館普賢象全景 2022.07.06



開花状況 2022.07.06

「普賢象」は雌蕊が「葉化」しやすく、種子を付けない栽培品種で、すなわち、これ以上品種改良が困難な桜、いわば究極の桜です。この大成館の桜でも雌蕊の「葉化」が見られたほかに、花卉の一部が緑色化しているものも見られ、花卉の「葉化」を示しているのではないかと思われました。

一部の葉にサクラフシアブラムシ（別名ササキコブアブラムシ）による「虫瘻（ちゅうえい）」と言われる虫こぶが

見られ、主に美観上の問題から、葉ごと除去するよう、高井氏に助言しました。

高井氏によると、2022年は、5月15日から7月13日まで咲いていた、とのことでした。



雌蕊の葉化 2022.07.06



花卉の緑色化 2022.07.06

### 3 「7月の普賢象」が咲く新幹線駅のある町、長万部町

「7月の普賢象」が見られる理由は、長万部町の気候にあります。同町が渡島半島北部黒松内低地帯の噴火湾側に位置し、夏は南から冷たい風と海霧が流れ込む特殊な気候であるからです。次の表は、月別日平均気温の表です。日平均気温は1時から24時までの毎正時24回の観測値の平均で、それらの月平均を示しています。「長万部」、北海道でソメイヨシノが一番早く咲く「松前」、「長万部」よりも北にあり、当社が所在する「札幌」、との比較です。「長万部」の4月も寒いですが、普賢象が開花する5月、6月が他の2地点よりも2°Cから3°C低くなっています。このことは、長万部が「常春の町」であることを示しています。

長万部等の月別日平均気温

観測地点	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年8月
	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月
長万部	5.6	10.7	15.4	20.5	21.0
	6.1	10.4	14.8	20.4	20.7
松前	8.5	13.0	17.7	23.1	22.8
	9.2	13.7	16.5	22.1	22.7
札幌	7.9	13.1	18.9	23.9	22.9
	9.1	14.9	16.8	23.1	22.7

出典：気象庁気象観測データ

生殖能力を失うほど改良された栽培品種の「普賢象」ではありますが、寒い春におそろおそろ開花させて、虫たちに花粉を運んでもらおうとする生存戦略、いわば「永過ぎた春」作戦をしているのかもしれませんが。この作戦によって、花卉数なども変わっているかもしれません。

また、長万部町には、この普賢象だけでなく、「関山」など「7月の八重桜」も存在している可能性もあります。

さて、桜のこうした「永過ぎた春」作戦は、地域振興にも大きなヒントを与えてくれているような気がします。本州には、6月に猛暑日という危険な暑さに見舞われる町に住んでいる人々がいます。このようなところにお住まいの方々の避暑地として、近い将来、新幹線の停まる駅のある町・長万部町は、最適な町の一つではないかと思われます。冷涼な避暑地、暖かい温泉、そこへ夏なのに「行く春」を感じさせる八重の桜は、彩りの一つになると思うからです。